Free download Consumer awareness test c chapter 5 amazon s3 (2023)

従来 システム開発のプログラマは 顧客の業務要件を理解し 要件に応じた設計を行ない プログラミング言語を使ってシステムを実装し 仕様通りの機能を持つかをテストすることが主なミッションでした 今日ではそれに加えて 構成管理ツールを使って 開発したシステムの実行環境のプロビジョニングなどを行なうケースも増え ネットワーク設計やosの導入 システム データベースサーバなどのミドルウェアの設定やセキュリティといったインフラ構築の知識が求められています 本書は linuxのコンテナ仮想化ツールであるdockerを使って コードでインフラ環境を構築するための入門書です 開発環境や実行環境などインフラ構築 自動化 の経験がない開発者を対象に おさえておきたいシステム基盤 インフラの基礎知識に加えて dockerによるインフラ構築と管理の方法をやさしく解説します 理解しにくいネットワークや仮想技術などのインフラの基礎概念を図解しながら 開発 実行環境を実際に構築することで 構成管理ツールを使ったインフラ構築の流れを解説していきます おさえておきたいシステム インフラの知識 コンテナ仮想化技術とdocker dockerのインストールと基本コマンド dockerfileを使ったコードによるサーバ構築 dockerイメージの共有 docker registry 複数コンテナの一元管理 docker compose マルチホスト環境でのdocker運用 docker machine docker swarm クラウドでのdocker運用 amazon services aws の請求書を見て 高いな と思われたことはないでしょうか 利用料金を下げたいけどどうしたらよいか悩んでいないでしょうか awsの 使った分だけ課金 は初期費用がかからずリーズナブルですが 料金体系が複雑で見通しが難しく 使い方次第では思わぬ出費を招くこともあります 本書はawsの料金体系についてできるだけ体系的に説明し コスト削減するためのポイントやコストの可視化 分析 予算管理 コスト最適化についてaws初心者でもわかりやすく解説します 目次 第1章 amazon ec2 第2章 aws lambda 第3章 コンテナーサービス 第4章 amazon ebs efs 第5章 ネットワーク 第6章 amazon s3 第7章 aws pricing calculator 第8章 aws cost explorer 第9章 aws cost and usage report 第10章 aws budgets 第11章 コスト配分タグ 第12章 aws cost category 第13章 aws trusted advisor 第14章 aws compute optimizer 第15章 aws well architectedフレームワーク コスト最適化 第16章 事例の紹介 付録a redashのインストール 設定 amazon services aws の請求書を見て 高いな と思われたことはないでしょうか 利用料金を下げたいけどどうしたらよいか悩んでいないでしょうか awsの 使った分だけ課金 は初期費用がかからずリーズナブルですが 料金体系が複雑で見通しが難しく 使い方次第では思わぬ出費を招くこともあります 本書はawsの料金体系についてできるだけ体系的に説明し コスト削減するためのポイントやコストの可視化 分析 予算管理 コスト最適化についてaws初心者でもわかりやすく解説します 目次 第1章 amazon ec2 第2章 aws lambda 第3章 コンテナーサービス 第4章 amazon ebs efs 第5章 ネットワーク 第6章 amazon s3 第7章 aws pricing calculator 第8章 aws cost explorer 第9章 aws cost and usage report 第10章 aws budgets 第11章 コスト配分タグ 第12章 aws cost category 第13章 aws trusted advisor 第14章 aws compute optimizer 第15章 aws well architectedフレームワーク コスト最適化 第16章 事例の紹介 付録a redashのインストール 設定 この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適してい

ます また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません aws認定 データ分析 に頻出する内容を1冊にまとめました 本書は aws認定 データ分析 aws certified data analytics specialty das c01 の認定試験の対策本です 試験に合格するために必要なawsの知識はもとより 実務でも活かせるようにデータ分析システムの構成要素 考え方を身に着けてもらえることを目標にしています 第1章 aws試験概要と学習 第2章 データ分析をとりまく全体像 第3章 データ収集 第4章 ストレージとデータ管理 第5章 データ処理 第6章 分析と可視化 第7章 セキュリティ 第8章 well architected 第9章 練習問題 佐々木拓郎 nriネットコム株式会社所属 awsに関する技術や情報発信が評価され 2019年から2022年までaws ambassadorsに選ばれる 2020年には 日本における貢献度1位として top japan ambassadorsの評価を受ける 2023年に勇退 本職はクラウドを中心としたシステム構築のコンサルティングから開発運用などと その組織のマネージメントに従事している 得意とする分野はアプリケーション開発や開発環境周辺の自動化などであったが 最近はすっかり出番もなくなり awsのアカウント id管理の方法論を日々考えている aws認定についても全12区分を取得済み 本書においては 主に1章 3章 8章を担当した 喜早彬 2008年nriネットコム株式会社入社 主にフロントエンドを中心に 携帯ナビゲーションサイト btobタブレットアプリ btocスマートフォンアプリの構築プロジェクトを経験 近年はデータ分析基盤構築を始めクラウドを生かしたシステム構築やソリューション開発や自社内のccoe推進活動に携わる また 技術広報としてテックブログの企画 運営を中心に自社の広報業務にも従事 本書においては 主に2章 4章 データストア選択のポイント 6章 7章 aws lake formation の執筆を担当した 小西秀和 アプリケーションエンジニアとして経験を積んだのち シリコンバレーにてawsに関するr dに従事 その後 環境移行 認証連携 iac活用 webアプリ開発 サーバーレス開発などにawsを使用してきた 近年は社内マルチクラウド環境構築等をしながら 継続的なaws認定全取得で得られる知識をベースにawsを活用している 2020 2021 2022 2023 年のjapan aws top engineer services japan aws all certifications engineerに選出 本書においては 主に1章 サーバーレスオプション オンデマンドモード 3章 amazon appflow aws data exchange 9章 練習問題の執筆を担当した 望月拓矢 2016年に外資系it企業へ入社し ハードウェアエンジニアとしてサーバーやストレージ およびネットワーク製品の導入 保守 運用業務に従事 その後 専門技術の幅を広げる目的で2019年に事業会社の情報システム部へ 社内インフラエンジニアとしてaws gcp およびオンプレ環境を使用したシステムの基盤構築と運用 社内ネットワークの構築や管理等を経験する クラウド技術の柔軟性に魅力を感じ 2021年にnriネットコム株式会社に入社 クラウドエンジニアとして主にaws を利用したシステムの設計 構築 運用を専門とする 2022年 2023年のaws all certifications engineersに選出 本書においては 主に4章 運用向けデータストア 7章 セキュリティの執筆を担当した 和田将利 ストレージベンダ スマートフォンゲーム会社等を経て2020年nriネットコム株式会社入社 本書においては 主に5章の執筆を担当した この商品は固定レイアウト型の電子書籍です この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字列のハイライトや検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません お使いの端末で無料サンプルをお試しいただいた上でのご購入をお願いいたします この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません この1冊で サーバーレスアプリケーション開発の詳細がわかる 本書はamazon services aws を活用したサーバーレスアプリケーションの開発方法をまとめた本です chapter1ではサーバーレスアプリケーションの概要やメリット chapter2ではawsのアカウント設定の準備について説明します chapter3ではインフラの自動化について解説します システムの異常を感知した際の通知や webサイトの定期的なチェックをするアプリケーションを作ります chapter4ではtwitterをリアルタイム分析するアプリケーションを作ります 世界中のツイートをストリーミングデータとしてamazon dynamodbへと保存します chapter5では写真投稿サイトをシングルページアプリケーションで作ります 投稿した写真を他の人とシェアできるようなサイトを作ったら 認証機能を追加し amazon rekognitionを使った自動タグづけを行います また サー

バーレスアプリケーションのためのデプロイメントツール aws samを用いて設定を行います chapter6ではサーバーレスアプリケーションのライフサイクル管理を実現する設定を解説します あらためてaws samについて解説するとともに 複数環境の管理方法や デリバリプロセスの自動化について説明します chapter7はトラブルシューティングをまとめました 各種メトリクスの詳細について解説するほか 分散アプリケーションを分析したりデバッグするサービス aws x ray を説明します 本書で掲載しているプログラムはpython 3対応です クラウドコンピューティングの技術の中でも 昨今注目を集めているのがサーバーレスアーキテクチャです faas function as a service とも呼ばれるサーバーレスアーキテクチャは ファンクション 関数 と呼ばれるマイクロサービスを実装し 組み合わせながら サービスを構築していくアーキテクチャです その際 実行環境となるサーバーのスケーリングや管理をクラウドプロバイダに任せることで 開発者はオンプレミスなサーバーを考えることなしに 開発時間の短縮と運用コストの削減を図ることができます 本書では サーバーレスアーキテクチャに興味のある開発者がamazon services aws 上で新技術を実践 体験するための例として マイクロサービスのコードを実行する aws lambda amazon s3 などのクラウドストレージ amazon dynamodb などのデータベース auth0 などの認証サービス といったサービスを組み合わせながら 実際に動かすことのできる動画シェアサイトを構築していきます 世界的な技術カンファレンス serverlessconf の責任者である著者による サーバーレスアーキテクチャの主要なデザインパターンを学べる1冊です 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社 コストを意識した最適なawsクラウドサーバの構築するノウハウが満載 本書はamazon services 以下aws によるサーバ構築を行おうと考えている 企業のシステム担当者 サーバ管理者 sierなどに向けた内容となっています 多くのサービスの集合体であるawsの概要やawsの導入に関する説明から始まり コストを意識したawsクラウドサーバの構築の手法について解説します 本書では awsに切り替えた時に 導入 運用 管理面でどのようなコスト的なメリットがあるのか きちんとフォーカスしています また 本書で扱うモデルは 近年ecサイトで利用が多くなったwordpressとawsを組み合わせたものや movable typeとawsを組み合わせたものを扱っています クラウドを利用したサーバ構築にかかわる開発者や運営者の方にとって必須の1冊です 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社 apnプレミアティアコンサルティングパートナーの渾身の1冊 企業情報システムではクラウドに構築するシーンが多くみられますが オンプレミスとしているシステムも多数あります 本書は 現在オンプレミスで運用している情報システム担当者にむけ クラウド移行のポイントをまとめたものです クラウドとオンプレミスの連携や 移行の7rなど コンパクトにポイントを押さえた解説で 全体像が手にとるようにわかります このような方におすすめ 企業の情報システム担当者 主要目次 第1章 パブリッククラウドの利用 第2章 コスト試算 第3章 移行方法の検討 第4章 クラウド化成功のためのガイドライン作成 第5章 awsアカウントの開設のポイント 第6章 クラウド利用の2大構成 第7章 クラウドならではの可用性 第8章責任範囲 第9章 ネットワークの設計と構成 第10章 運用 保守の検討 第11章 教育 第12章 awsの各サービス解説 用語集 この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません クラウド技術者向けのベンダー資格として人気の高い aws認定資格 のうちでも もっとも初級の資格である クラウドプラクティショナー の試験対策本です 試験の新バージョン c02 に対応して改訂しました aws入門書の決定版 アマゾン ウェブ サービス aws 社のプロダクトマーケティング エバンジェリスト 亀田治伸氏 およびテクニカルトレーナ 山田裕進氏の執筆による awsの利用を前提としたクラウド入門 一般的なクラウドコンピューティングの概要 awsクラウドの基礎知識概念 テクノロジー セキュリティ 代表的なサービスなどについて理解できる 付録では awsの料金 セミナー イベントおよびトレーニング aws認定 アカウント設定などについて解説 さらにawsの主

なサービスの一覧を掲載 クラウドコンピューティングおよびawsについての実用的な情報を求める様々な方に最適 対象読者 it企業の新入社員 情報システム部 経営企画部の方 中小企業の経営者 it企業の営業担当 awsパートナー企業 itに意識高いビジネスパーソン 他の分野からクラウド分野へ転身の開発者 目次 第1章 クラウドコンピューティングの特徴とメリット はじめてのaws 第2章 itシステムの使用例とawsの主要サービス awsはどんなときに使う 第3章 aws導入のメリットその1 ネットワーク コンピューティングを活用する 第4章 aws導入のメリットその2 ストレージを活用する 第5章 aws導入のメリットその3 データベースを活用する 第6章 aws導入のメリットその4 クラウドセキュリティの考え方 第7章 新しいテクノロジーへの取り組みとクラウドネイティブ開発 これからの時代に求められるスキルと人材 付録a awsのご利用にあたって 付録b awsサービス一覧 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社 実務で使いこなすためには技術の理解が不可欠 確かな知識がつく 使える教科書 本書のポイント 解説とイラストがセットで理解しやすい awsの概念的な説明や実現に向けての準備だけでなく 技術面もしっかり解説 awsの代表的なサービスの特徴 オンプレミスでシステムを作る場合との違い 留意点がわかる これから利用しようと考えている人にイチから解説 現場の実態や出来事など 最新動向にもしっかり対応 キーワードから知りたい項目を調べやすい こんな方におすすめ aws全体の概要を知りたい方 実務でawsに関わる方 awsに関連する技術のイメージがわかなくて困っている方 awsの運用や管理についてイメージをつかみたい人 現場の実態や出来事など 最新動向についても知りたい方 内容紹介 本書はawsが企業や団体向けのサービスであることを踏まえて 個人でも利用しやすい基本的かつ代表的なサービスを中心にやさしくかつ丁寧に解説することで awsならびにクラウド初心者の方でもその概要を理解することができます また awsが提供しているクラウドサービスの手軽さや簡単さ やや難しくて注意を要するポイント 技術的な部分などにも多少踏み込むことで 既存の入門書よりもより実践的な内容となっています 本書では見開きで1つのテーマを取り上げ 図解を交えて解説しています 最初から順に読んで 体系的な知識を得るのはもちろん 気になるテーマやキーワードに 注目しながら読むなど 状況に合わせて活用しましょう 目次 第1章 awsを使う 世界最高峰のクラウドサービス 第2章 クラウド利用の基本 事前に検討すべきこと 第3章 amazon ec2を使う クラウドの仮想サーバーを使うために 第4章 amazon s3を使う クラウドらしいストレージサービス 第5章 クラウドを支える技術 クラウド事業者の視点から 第6章 amazon vpcを作る 簡単に作れる仮想ネットワーク 第7章 rdsとdynamodbを使う さまざまなデータベースや分析のサービス 第8章 awsの先進的なサービス 先進技術やトレンドのサービス 第9章 セキュリティと運用管理 ユーザー コスト セキュリティ 運用などの管理 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社 最新情報技術用語50のトピックを500のキーワードでしくみから全解説 実務で使いこなすためには技術の理解が不可欠 確かな知識がつく 使える教科書 本書のポイント 解説とイラストがセットで理解しやすい awsの概念的な説明や実現に向けての準備だけでなく 技術面もしっかり解説 awsの代表的なサービスの特徴 オンプレミスでシステムを作る場合との違い 留意点がわかる これから利用しようと考えている人にイチから解説 現場の実態や出来事など 最新動向にもしっかり対応 キーワードから知りたい項目を調べやすい こんな方におすすめ aws全体の概要を知りたい方 実務でawsに関わる方 awsに関連する技術のイメージがわかなくて困っている方 awsの運用や管理についてイメージをつかみたい人 現場の実態や出来事など 最新動向についても知りたい方 内容紹介 本書はawsが企業や団体向けのサービスであることを踏まえて 個人でも利用しやすい基本的かつ代表的なサービスを中心にやさしくかつ丁寧に解説することで awsならびにクラウド初心者の方でもその概要を理解することができます また awsが提供しているクラウドサービスの手軽さや簡単さ やや難しくて注意を要するポイント 技術的な部分などにも多少踏み込むことで 既存の入門書よりもより実践的な内容となっています 本書では見開きで1つのテーマを取り上げ 図解を交えて解説しています 最初から順に読んで 体系的な知識を得るのはもちろん

気になるテーマやキーワードに 注目しながら読むなど 状況に合わせて活用しましょう 目次 第1章 awsを使う 世界最高峰のクラウドサービス 第2章 クラウド利用の基本 事前に検討すべきこと 第3章 amazon ec2を使う クラウドの仮想サーバーを使うために 第4章 amazon s3を使う クラウドらしいストレージサービス 第5章 クラウドを支える技術 クラウド事業者の視点から 第6章 amazon vpcを作る 簡単に作れる仮想ネットワーク 第7章 rdsとdynamodbを使う さまざまなデータベースや分析のサービス 第8章 awsの先進的なサービス 先進技術やトレンドのサービス 第9章 セキュリティと運用管理 ユーザー コスト セキュリティ 運用などの管理 デジタルトランスフォーメーション が声高に叫ばれる今 ビジネスにいかに世界の最新テクノロジーを取り込めるかがますます重要になっています ですが 多くの優れた最新クラウド製品は 英語以外の言語にローカライズされていることは極めて稀です readme digitalは そうしたテクノロジー製品の英文マニュアルの壁に突き当たりがちな現代のビジネスエンジニアのために 最初の一歩 でつまづかないようサポートするガイドブックシリーズです harnessは ビルド テスト デプロイ 検証を早い周期で継続的に回し 顧客やビジネスのニーズに適応したソフトウェアのアジャイル開発の促進を可能にするci cdツールです 本書では 長い説明文は徹底的に廃し エンジニアが実際に操作した画面の遷移を軸に 見て分かる速攻ガイド として分かりやすく編集しています 目次 section 01 ビルトインアプリツアーガイド section 02 aws amiクイックスタート section 03 aws codedeployクイックスタート section 04 sftpアーティファクトサーバの追加 section 05 aws lambdaクイックスタート section 06 トラディショナルクイックスタート section 07 シェルスクリプトデリゲートのインストール section 08 デリゲートの承認または拒否 section 09 デリゲートプロファイルでのスクリプト実行 section 10 デリゲートタスクカテゴリマッピング section 11 セレクタを使用したデリゲート選択 section 12 スコープデリゲート section 13 aws cliのデリゲートインストール section 14 harness manager section 15 awsクラウドプロバイダの追加 section 16 githubリポジトリの追加 section 17 gitlabリポジトリの追加 section 18 aws codecommitリポジトリの追加 section 19 jiraコラボレーションプロバイダの追加 section 20 cloudwatch検証プロバイダの追加 section 21 ユーザー通知の管理 section 22 アラート通知の管理 section 23 タグを使用したメタデータの割り当て section 24 タグを使用したフィルタリング section 25 デプロイメントで使用されるデリゲートの表示 section 26 amiの基本的なデプロイメント section 27 クラウド形成用アカウントの設定 section 28 awsセットアップコストの可視化 section 29 awsコストの分析 section 30 バジェットの作成 section 31 アカウントレベルのgit同期 section 32 アプリケーションレベルのgit同期 section 33 カスタムダッシュボードの作成と管理 section 34 プライマリウィジェット section 35 カスタムウィジェット この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません awsを使ったことのない方 これからawsを使ってみたいと考えている方のための入門書です amazon ec2 amazon rds amazon s3 を使ってみようという方に操作方法をやさしく紹介します この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません aws 認定 高度なネットワーキング に頻出する内容を1冊にまとめました 本書はawsのネットワークに関する知識を体系的に1冊にまとめました aws認定試験を受験される方はもちろん awsのネットワークについて学びたい方や 知識をアップデートしたい方にもおすすめの1冊です aws認定とは aws 認定試験は awsに関する知識 スキルを測るための試験です レベル別 カテゴリー別に認定され 基礎コース アソシエイト プロフェッショナルの3つのレベルとネットワークやセキュリティなど分野ごとの専門知識 スペシャリティ があります またアソシエイトとプロフェショナルは アーキテクト 開発者 運用者の3つのカテゴリーを用意し それぞれの専門にあった知識を問われます 基本的にはit エンジニア向けの試験ですが 基礎コースにあたるクラウドプラクティショナーのように 営業職や経営者 管理職に推奨されている資格もあります クラウドプラクティショナー

は クラウドの定義や原理原則 メリットなど これからawsを学んでいく上で入門的な内容の試験となります 本書の特徴 特徴1 短期学習 読み飛ばしが可能な構成 サービスごとに要点を整理しているため得意な範囲は読み飛ばせるように工夫しました 項目ごとの確認問題で まずはスキルチェック サービスごとの構成や特徴を理解しやすいように細かく図解 複雑な項目はまとめで知識の整理 特徴2 豊富な練習問題を解きながら学べる 60問を超える練習問題を掲載しました 直近で出題が予想される内容にしてあります 章のおわりに関連する問題をまとめて掲出 選択肢ごとに詳しく 丁寧に解説 問題を解いたあとは対応する範囲を再確認できるように構成 特徴3 実務者の知識のアップデートにも最適 執筆時点で最新のサービス 技術を丁寧に解説してあります 最新のサービスを踏まえて学習 サービスごとの最新機能も網羅的に解説 試験を受験しない方にとっても 知識のアップデートに最適 この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません データサイエンス データ分析 ブーム以来 上手に活用できている企業と活用に失敗した企業に二極化しつつあります では 成功した企業と失敗した企業の違いはどこにあるのでしょうか 本書は データ分析プロジェクトの計画からビジネスへの適用までを広く理解できるようにわかりやすく解説した入門書です 先進的な取り組みをしている企業の最新事例から データ分析のプロセス 分析手法 クラウドサービス 用語まで紹介します この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません aws 認定 ソリューションアーキテクト 試験が求める内容を1冊にまとめました 本書はaws認定のソリューションアーキテクトに関する知識を体系的に1冊にまとめました aws認定試験を受験される方はもちろん awsのサービスについて学びたい方や 知識をアップデートしたい方にもおすすめの1冊です aws認定とは aws認定試験は awsそしてawsと組み合わせて使用するさまざまな技術の最適な使い方が選択できることを証明します aws を使うシーンとして さまざまな課題や制約に対して 最適な使い方ができるかどうかが主に問われる試験です 役割 設計 開発 運用 とレベル アソシエイト プロフェッショナル で分かれている試験と 専門知識 セキュリティ データベース データ分析 高度なネットワーキング 機械学習 によって分かれている試験があり 2022年12 月時点で12の試験が日本で受験可能です 今後も認定試験が増える可能性はあります また 認定試験は更新されて新しい内容になったり 廃止されたりする場合もあります aws認定ソリューションアーキテクトアソシエイトも2022年8月のsaa c 03という新しいバージョンになりました 本書ではsaa c 03の試験ガイドに沿って内容を構成しています 本書の特徴 特徴1 短期学習 読み飛ばしが可能な構成 章ごとに要点を整理しているため 得意な範囲は読み飛ばせるように工夫しました 章ごとの確認問題で まずはスキルチェック サービスごとの構成や特徴を理解しやすいように細かく図解 複雑な項目はまとめで知識の整理 特徴2 豊富な練習問題を解きながら学べる 150問を超える練習問題を掲載しました 各章の理解度を確認できる内容にしてあります 選択肢ごとに詳しく 丁寧に解説 問題を解いたあとは対応する範囲を再確認できるように構成 特徴3 実務者の知識のアップデートにも最適 執筆時点で最新のサービス 技術を丁寧に解説してあります 最新のサービスを踏まえて学習 サービスごとの最新機能も網羅的に解説 試験を受験しない方にとっても 知識のアップデートに最適 開発ベンダー5年 ユーザ企業システム部門通算9年を経て トレノケート株式会社でaws authorized instructorとしてawsトレーニングコースを担当 また 各コミュニティの運営にも個人的に関わり 勉強会にてスピーカーや参加をしている 個人ブログは自らが主催する勉強会と同じ名前のヤマムギ awsを活用するノウハウを現場のエンジニアが徹底解説 開発現場への導入が進んでいる アマゾン ウェブ サービス aws 本書は awsの日本ユーザーグループであるjaws ugのメンバーが多く集まって執筆を行った まさに現場の導入と運用のテクニックやノウハウのつまった1冊となっています 本書の構成 1章でawsの概要や アカウントの取得方法 よく使われる専門用語などについて紹介しています 2章から7章にかけては awsが提供する多くのサービスに関して 主要なものを中心になるべく多くのサービスを紹介しています ストレージやコンテンツ配信 データベースといった基本的なものから 開発者用ツールや管理ツール セキュリティ 分析 iot モバイルサービスに至るまで awsの提供する様々なサービスの魅力を感じていただけることと思います 8章以降は 複数のサービスを組み合わせて実現する 目的に応じた利用方法を紹介しています 本書の使い方 特定のサービスについて どういう目的で提供されているのか どのように活用できるのか を知りたい場合は

2章以降の個別のサービス紹介において そのサービスの概要や利用方法を調べることができます それぞれのサービス解説の章はリファレンス的にもご活用いただけますので 手元に置いて利用法別 目的別に適宜お調べいただくことができます また iotで分野で活用したい エンタープライズ向けの活用方法を知りたい といったことであれば 8章以降が役に立つでしょう 昨今ではクラウドを利用することが標準的な位置を占めており スピード面やセキュリティ面 扱いやすさなどの様々な観点から考えても 使わない理由を探すほうが難しいといった状態に変わってきています その流れを作っている中心がawsと言っても過言ではないでしょう そのawsについて初心者の方をメインのターゲットとし 中上級者の方々にも楽しみながら 学んでいただけるように執筆を行いました 著者 まえがき より 円滑に導入したいweb担当者から 効率的に運用したいシステムエンジニア よりawsを活用したい開発者まで ぜひ本書をご活用ください この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません aws amazon services は amazonの提供するクラウドサービスです awsを使えば料理レシピの投稿 検索サービスや 動画を利用した教育サービスなどを手間やコストをかけずに開発できます 本書は amazon servicesを使ったクラウド開発をハンズオン形式で作りながら覚えるアプリ開発運用入門書です 解説の順番を工夫して暗記する局面を極力減らすなどaws未経験者でも安心して最後まで読めるように工夫しました 知識ゼロからawsの基本が一気に身につく この電子書籍は固定レイアウト型で配信されております 固定レイアウト型は文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません awsの最初の一歩としての基本の知識を1冊にぎゅっと凝縮した入門書 誰もが確実に知識を身につけられるように 豊富な図解とわかりやすいテキストで awsの幅広い知識を体系的に解説していきます 本書の特徴 オールカラーの紙面に 図や画面を豊富に掲載 楽しく 直感的にわかりやすい内容を目指しました 仮想サーバー ストレージ ネットワーク データベース セキュリティなどの根幹をなすサービスを コストや利用イメージなども交えながら丁寧に解説 基本の知識がしっかり身につきます itシステムに馴染みのない人でもつまずかないよう サーバーやネットワークなどの基礎知識もやさしく解説します コンテナ サーバーレスコンピューティング 機械学習などの新しいサービスもしっかり紹介 いまどきのシステム開発の基礎知識も身につきます 定番のサービスだけでなく 知っておきたい便利なサービスも多数掲載 本書では60以上のサービスを紹介しています awsインフラ構築 管理の基礎と手法を網羅 アカウント作成から システム規模の自動化 自動スケーリング までカバーした格別の一冊 無料枠での利用についても適宜示しています 多くの章で共通するテーマの1つが 自動化 本書の内容を試せば aws cloudformationを使いこなせるようになるでしょう part 1では 活用事例や長所 料金などを紹介した後 基本サンプルとしてwordpressシステムの構築法を示します part 2では インフラ構築 管理の基礎事項を中心に説明 part 3では データを格納する6種類の方法を具体的に見ていきます part 4では 動的スケーリングが可能で 高可用性そして耐障害性を持つインフラアーキテクチャを重点的に見ていきます サーバー ネットワーク 自動デプロイ セキュリティ サーバーレス開発 データストア オブジェクト リレーショナル 共有 キャッシュ nosql 高信頼化 高可用性 耐障害性 オートスケーリング awsには さまざまなメリット 最新機能の活用 自動化 スケーラビリティ 信頼性 より短期間での環境構築などがあります 本書の内容を把握すれば こうしたメリットを享受できる準備が整うはずです 本書は amazon services in action second edition の翻訳書です 掲載した画面や手順は 2019年8月上旬に確認したものを掲載していますが 今後変更される可能性があります 発行 インプレス prepare for success on the aws sysops exam your next job interview and in the field with this handy and practical guide the newly updated third edition of aws certified sysops administrator study guide associate soa c02 exam prepares you for the amazon services sysops administrator certification and a career in the deployment management and operation of an aws environment whether you re preparing for your first attempt at the challenging soa c02 exam or you want to upgrade your

aws sysops skills this practical study guide delivers the hands on skills and best practices instruction you need to succeed on the test and in the field you ll get coverage of all of the soa c02 exam s domains including monitoring logging remediation reliability business continuity and more instruction that s tailor made to achieve success on the certification exam in an aws sysops job interview and in your next role as a sysops administrator access to the sybex online study tools with chapter review questions full length practice exams hundreds of electronic flashcards and a glossary of key terms the aws certified sysops administrator study guide associate soa c02 exam includes all the digital and offline tools you need to supercharge your career as an aws certified sysops administrator この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません クラウド技術者 エンジニアに人気の資格 aws認定ソリューションアーキテクトアソシエイト の試験対策テキストです 試験の最新バージョンであるc03に対応して改訂しました この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません 合格に必要な知識はここにある 本書は aws認定 セキュリティ 対策用の受験対策テキストです aws認定 セキュリティ は最低2年間のawsのワークロード保護に関する実務経験を持つセキュリティ担当者を対象とした認定試験です 金融業やエンタープライズには必須となりつつある認定を 豊富な経験と知識を持った著者陣が 合格するために必要な知識をわかりやすく解説しています また 問題の解き方も丁寧に解説し 試験に取り組む際のテクニックも学べます 練習問題で総仕上げも行えるので 受検者必携の一冊です 2023年7月11日にセキュリティ認定試験が新しいバージョンscs c02となる予定です 本書は旧バージョンであるscs c01に対応しています 第1章 aws試験概要と学習方法 第2章 idおよびアクセス管理 第3章 インフラストラクチャのセキュリティ 第4章 データ保護 第5章 ログと監視 第6章 インシデント対応 第7章 aws well architected 第8章 練習問題 この商品は固定レイアウト型の電子書籍です この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字列のハイライトや検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません お使いの端末で無料サンプルをお試しいただいた上でのご購入をお願いいたします 本書内容はカラーで制作されているため カラー表示可能な端末での閲覧を推奨いたします この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません sf映画みたいに スマートスピーカーと会話してみたい 本書は google homeとamazon echoの2種類のスマートスピーカーの対象とした 開発の入門書です スマートスピーカーを使って 何か作ってみたい人を読者対象としています なお 本書のプログラムはjavascriptで記述しています javascriptを知らなくても実行できるように配慮していますが javascriptの基本を理解している方がよりスムーズに開発を進められます サンプルファイルはサポートサイトからダウンロードできます 目次 chapter 1 スマートスピーカーで何ができるか chapter 2 ifttt でスマートスピーカーと各種サービスをつなげよう chapter 3 iftttと自宅pcでスマートホームを実現しよう chapter 4 sdkでアプリを作ろう google home chapter 5 sdkでアプリを作ろう amazon echo chapter 6 応用から申請まで over 30 hands on recipes that will get you up and running with amazon simple storage service s3 efficiently about this book learn how to store manage and access your data with aws sdks study the amazon s3 pricing model and learn how to calculate costs by simulating practical scenarios optimize your amazon s3 bucket by following step by step instructions of how to deliver your content with cloudfront secure the s3 bucket with iam and lower costs with object life cycle management who this book is for this book is for cloud developers who have experience of using amazon s3 and are also familiar with amazon s3 what you will learn host a static website on amazon s3 calculate costs with aws simple monthly calculators deploy a static website via cloudformation distribute your content via cloudfront secure resources with bucket policies and iam protect objects using server side and client side encryption enable cross origin resource sharing manage objects life cycles to lower costs optimize performance for uploading as well as downloading objects enable s3 event notifications and create lambda functions manage common operations with aws sdks in detail amazon s3 is one of the most famous and trailblazing cloud object storage services which is highly scalable low latency and economical users only pay for what they use and can store and retrieve any amount of data at any time over the internet which attracts hadoop users who run clusters on ec2 the book starts by showing you how to install several aws sdks such as ios java node js php python and ruby and shows you how to manage objects then you ll be taught how to use the installed aws sdks to develop applications with amazon s3 furthermore you will explore the amazon s3 pricing model and will learn how to annotate s3 billing with cost allocation tagging in addition to this the book covers several practical recipes about how to distribute your content with cloudfront secure your content with iam optimize amazon s3 performance and notify s3 events with lambada by the end of this book you will be successfully implementing pro level practices techniques and solutions in amazon s3 style and approach a step by step practical guide that will show you how to efficiently store manage and control your data in amazon s3 クラウド上のシステムの安全はどこから手をつければいいのか awsのセキュリティ その考え方と実践 オンプレミス環境中心だったエンタープライズシステムはいまやクラウド環境への移行が本格化しています 特に 手軽にスモールスタート可能なパブリッククラウドへの移行はすっかり一般的になりましたが 機密性の高いデータを誤って公開してしまったり 適切な設定がされていなかったりと クラウド環境ならではのセキュリティインシデントが発生するようになってしまったのもまた事実です このような現代において クラウドを主戦場とするシステム管理者 開発者には 従来どおりの つまり オンプレミス クラウド共通の セキュリティ管理を学ぶことはもちろん クラウド特化型の セキュリティ管理の原則を学ぶことも必須となっています それは 責任共有モデルなどクラウド固有の考え方を正しく知ることでもあり 同時に クラウド利用によって得られる開発手法の変化や開発スピードの加速といった技術進歩にいち早く対応することでもあります 変わり続けるシステム構成や機能 それら

に対応し続けながら リアルタイムにリスクを検知し ビジネスの損失を最小限に抑えるアプローチ それが継続的セキュリティです 継続的セキュリティを実現するための鍵となるのが システムが出力するさまざまなログを含めたイベントデータの取扱いです 本書を読めば 継続的監視に必要なロギング そして取得したログの集約や可視化 探索的分析などの活用方法を学ぶことができます 最大手のパブリッククラウドサービスの一つであるaws amazon service を実例として 基本的な知識 考え方にはじまり 具体的なaws上のマネージドサービスを使ったログ活用のベストプラクティスまでをも紹介する網羅的かつ実践的な クラウドセキュリティの教科書 と呼ぶにふさわしい一冊です 目次 chapter 1 継続的セキュリティとは chapter 2 継続的監視に必要なログとは chapter 3 セキュリティにおけるログ活用方法 chapter 4 awsサービスによる継続的監視 chapter 5 awsによるセキュリティの検出結果 chapter 6 セキュリティインシデント調査 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社 この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません クラウド技術者向けのベンダー資格として人気の高い aws認定資格 のうちでも もっとも初級の資格である クラウドプラクティショナー の試験対策本です 最新情報に対応して改訂しました g cloud magazineでは とくにエンジニアをターゲットに 最新かつ実践的なテクニカル情報満載の内容でお届けします 2009年のソーシャルアプリブームを受け iaasに注目が集まる中 インフラとしてのクラウドの可能性 実際の効果などをふまえたうえで amazonやgoogleなどの海外の技術 ニフティをはじめとした国内の最新技術などについて丁寧に解説します その他 大規模プライベートクラウドなど 見どころ満載です awsのamazon connectでは 電話番号をもらってコンタクトセンターというサービスを開始することができます 本書ではその中でも通話音声の活用法についてまとめました 読み進めることで aws上でリアルタイムに通話音声を活用することが可能となります 目次 第1章 何について書いているの 第2章 高速かもしれないスタートアップ 第3章 盗聴 いえ モニタリングです 第4章 ccp改造計画 第5章 real time streaming 第6章 おかたづけ この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません google bigquery ビッグクエリ は googleが自社で保有している膨大なデータを効率的かつ高速に分析するために構築した社内データ分析基盤を一般提供したサービスです その内部ではborg colossus jupiter dremelなどのgoogle独自のコアテクノロジーが活用されており 実行されたクエリはgoogleの保有する膨大なインフラリソース上で瞬時に並列 分散処理されます その処理速度は1000億行のデータセットに対してインタラクティブに数十秒で結果を返してしまう程です 本書では 社内に蓄積されているビッグデータを 新人さんがbigqueryを駆使してその優れた機能に感動しながらも悪戦苦闘し 分析基盤として利用していくサンプルケースを通して bigqueryの利用方法を具体的に解説していきます まずは気を楽にして物語を楽しみながら 登場人物達と共にbigqueryや関連するgcpサービスについて理解を深めていただければと思います 45カ国のイノベーターによるビジネスモデルのイノベーション実践ガイド 現在世界中で主なコンサルタントと会社によって使用されている実用的な革新のテクニックを披露 3m エリクソン デロイトなどの一流企業で利用されています これまでの時代遅れな概念を捨て去り 価値創成の新しいモデルを掲げたこの本はすべての組織のマーケッターや開発社員 コンサルタント 企業家 およびリーダーにとって読み応えのある一冊です ビジネスモデルを9つの要素に分解することで 深いレベルで顧客 販売チャネル パートナー 収入の流れ 原価構造などが理解できます また 一般的なパターンを 豊富な事例を元に すばらしいグラッフィクを用いて詳細に解説 ビジネスモデルの理解 設計 実行を系統的に学ぶことができます 本書はいわば イノベーションを起すための 革新的かつ斬新な ビジネスモデル発生装置 です 本電子書籍は同名出版物を底本とし作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください 翔泳社 aws入門書の決定版 アマゾン ウェブ サービス aws 社のプロダクトマーケティン

グ エバンジェリスト 亀田治伸氏 およびテクニカルトレーナ 山田裕進氏の執筆による awsの利用を前提としたクラウド入門 一般的なクラウドコンピューティングの概要 awsクラウドの基礎知識 概念テクノロジー セキュリティ 代表的なサービスなどについて理解できる 付録では awsの料金 セミナー イベントおよびトレーニング aws認定 アカウント設定などについて解説 さらにawsの主なサービスの一覧を掲載 クラウドコンピューティングおよびawsについての実用的な情報を求める様々な方に最適 対象読者 it企業の新入社員 情報システム部 経営企画部の方 中小企業の経営者 it企業の営業担当 awsパートナー企業 itに意識高いビジネスパーソン 他の分野からクラウド分野へ転身の開発者 目次 第1章 クラウドコンピューティングの特徴とメリット はじめてのaws 第2章 itシステムの使用例とawsの主要サービス awsはどんなときに使う 第3章 aws導入のメリットその1 ネットワーク コンピューティングを活用する 第4章 aws導入のメリットその2 ストレージを活用する 第5章 aws導入のメリットその3 データベースを活用する 第6章 aws導入のメリットその4 クラウドセキュリティの考え方 第7章 新しいテクノロジーへの取り組みとクラウドネイティブ開発 これからの時代に求められるスキルと人材 付録a awsのご利用にあたって 付録b awsサービス一覧 前号の内容をさらにアップデートし 最新かつ実践的なクラウドコンピューティングの話題で構成する第2号です 前回に引き続き amazon servicesに関する特集の他 先のpdcにて次のフェーズが見えてきたwindows azure paasとしてますます利用が進むgoogle app engineに関する特集の他 前号のeucalyptus記事のアップデート クラウドコンピューティングにおけるセキュリティなど 本誌だけでしか読めない内容が満載です aws資格試験sysopsアドミニストレーターのアソシエイトのテキスト エンジニアとして実装 運用 管理をする人のための本 この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません 視覚情報を分析してビジネス課題を解決 awsのai 機械学習サービスを活用しよう amazon services aws のai 機械学習サービスを活用したコンピュータービジョン システムを構築しよう 視覚情報を分析しビジネス上の多くの課題を解決 実際の本番環境でも展開できるよう 具体的な実装方法を紹介します packt publishing computer vision on aws の翻訳書 part 1 awsとamazon rekognitionでのコンピュータービジョンの紹介 1章 コンピュータービジョン アプリケーションとawsのai 機械学習サービスの概要 2章 amazon rekognitionの利用 3章 amazon rekognition custom labelsを使用したカスタムモデルの作成 part 2 実世界のユースケースへのコンピュータービジョンの適用 4章 本人確認を使用した非接触型ホテルチェックインシステムの構築 5章 動画解析パイプラインの自動化 6章 aws aiサービスによるコンテンツの検閲 part 3 エッジでのコンピュータービジョン 7章 amazon lookout for visionの紹介 8章 エッジでのコンピュータービジョンを使用した製造不良の検出 part 4 amazon sagemakerを使用したコンピュータービジョン ソリューションの構築 9章 amazon sagemaker ground truth を使用したデータのラベル付け 10章 コンピュータービジョンでのamazon sagemakerの使用 part 5 コンピュータービジョン アプリケーションの運用環境ワークロードのベストプラクティス 11章 amazon augmented ai a2i によるヒューマン イン ザ ループの統合 12章 エンドツーエンドのコンピュータービジョン パイプライン設計のベストプラクティス 13章 コンピュータービジョンへのaiガバナンスの適用 lauren mullennex awsのシニアai 機械学習スペシャリスト ソリューションアーキテクト 複数の業界にわたるインフラストラクチャ devops クラウドアーキテクチャの幅広い経験を持っている nate bachmeier awsのプリンシパル ソリューションアーキテクト 金融サービス業界に焦点を当て世界中のクラウド統合に取り組んでいる jay rao awsのプリンシパル ソリューションアーキテクト 顧客に技術的および戦略的なガイダンスを提供しソリューションの設計と実装を支援している 翻訳者 鈴木貴典 アクロクエストテクノロジー株式会社にて シニア テクニカルアーキテクトとしてクラウドシステムの開発やコンサルティングに従事 好きなaws ai mlサービスはamazon lookout for vision 山本大輝 東京大学大学院情報理工学系研究科を修了後 アクロクエストテクノロジー株式会社でシニア データサイエンティストとして機械学習プロジェクトを推進 好きなaws ai mlサービスはamazon sagemaker 宮島拓也 awsを利用した多くのクラウドサービスの開発 構築経験を持ち モバイルとクラウドを連携したaiサービスの開発に取り組む 好きなaws ai mlサービスはamazon rekognition 吉岡駿 機械学習 aiを利用したクラウドサービスの開発や画像処理を用いた研究開発に従事 好きなaws ai mlサービスはamazon bedrock この商品は固定レイアウト型の電子書籍です この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字列のハイライトや検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません お使いの端末で無料サンプルをお試しいただいた上でのご購入をお願いいたします 本書内容はカラーで制作されているため カラー表示可能な端末での閲覧を推奨いたします この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません 電子版には冊子付録のコンテンツも収録しておりますが 綴込みdvd rom付録の収録はございません ただしdvd romに収録したコンテンツの一部 記事で利用したプログラムなど は読者限定サイトからダウンロードしてご利用いただけます 電子化にあたり 著作権 使用権のない記事 写真 図表は掲載しておりません 特集1 linuxを100 使い切るフリーソフト100 厳選100本のフリーソフトでlinuxを便利に楽しく wallpaperdownloader ramme google play music desktop player micro forked daapd 特集2 実は必要 linuxのセキュリティソフト どんなアンチウイルスソフトがある 検出率のわずかな差よりも 重さ に注目 無料のclamavでも有償ソフトに遜色なし 特集3 ストレージを追加してlinuxをインストールする windowsの完全バックアップで安心 安全なlinux移行 アカウントとメディアを用意してwindowsをクリーンインストールする 特集4 bluetooth機器で遊ぼう マウスやスピーカーをつなぐ技 working with rest and sockets on yaws cover

プログラマのためのDocker教科書 インフラの基礎知識＆コードによる環境構築の自動化

2015-11-19

従来 システム開発のプログラマは 顧客の業務要件を理解し 要件に応じた設計を行ない プログラミング言語を使ってシステムを実装し 仕様通りの機能を持つかをテストすることが主なミッションでした 今日ではそれに加えて 構成管理ツールを使って 開発したシステムの実行環境のプロビジョニングなどを行なうケースも増え ネットワーク設計やosの導入 システム データベースサーバなどのミドルウェアの設定やセキュリティといったインフラ構築の知識が求められています 本書は linuxのコンテナ仮想化ツールであるdockerを使って コードでインフラ環境を構築するための入門書です 開発環境や実行環境などインフラ構築 自動化 の経験がない開発者を対象に おさえておきたいシステム基盤 インフラの基礎知識に加えて dockerによるインフラ構築と管理の方法をやさしく解説します 理解しにくいネットワークや仮想技術などのインフラの基礎概念を図解しながら 開発 実行環境を実際に構築することで 構成管理ツールを使ったインフラ構築の流れを解説していきます おさえておきたいシステム インフラの知識 コンテナ仮想化技術とdocker dockerのインストールと基本コマンド dockerfileを使ったコードによるサーバ構築 dockerイメージの共有 docker registry 複数コンテナの一元管理 docker compose マルチホスト環境でのdocker運用 docker machine docker swarm クラウドでのdocker運用

Amazon Web Services コスト最適化入門

2020-09-18

amazon services aws の請求書を見て 高いな と思われたことはないでしょうか 利用料金を下げたいけどどうしたらよいか悩んでいないでしょうか awsの 使った分だけ課金 は初期費用がかからずリーズナブルですが 料金体系が複雑で見通しが難しく 使い方次第では思わぬ出費を招くこともあります 本書はawsの料金体系についてできるだけ体系的に説明し コスト削減するためのポイントやコストの可視化 分析 予算管理 コスト最適化についてaws初心者でもわかりやすく解説します 目次 第1章 amazon ec2 第2章 aws lambda 第3章 コンテナーサービス 第4章 amazon ebs efs 第5章 ネットワーク 第6章 amazon s3 第7章 aws pricing calculator 第8章 aws cost explorer 第9章 aws cost and usage report 第10章 aws budgets 第11章 コスト配分タグ 第12章 aws cost category 第13章 aws trusted advisor 第14章 aws compute optimizer 第15章 aws well architectedフレームワーク コスト最適化 第16章 事例の紹介 付録a redashのインストール 設定

Amazon Web Services コスト最適化入門

2020-09-18

amazon services aws の請求書を見て 高いな と思われたことはないでしょうか 利用料金を下げたいけどどうしたらよいか悩んでいないでしょうか awsの 使った分だけ課金 は初期費用がかからずリーズナブルですが 料金体系が複雑で見通しが難しく 使い方次第では思わぬ出費を招くこともあります 本書はawsの料金体系についてできるだけ体系的に説明し コスト削減するためのポイントやコストの可視化 分析 予算管理 コスト最適化についてaws初心者でもわかりやすく解説します 目次 第1章 amazon ec2 第2章 aws lambda 第3章 コンテナーサービス 第4章 amazon ebs efs 第5章 ネットワーク 第6章 amazon s3 第7章 aws pricing calculator 第8章 aws cost explorer 第9章 aws cost and usage report 第10章 aws budgets 第11章 コスト配分タグ 第12章 aws cost category 第13章 aws trusted advisor 第14章 aws compute optimizer 第15章 aws well architectedフレームワーク コスト最適化 第16章 事例の紹介 付録a redashのインストール 設定

要点整理から攻略する『***AWS***認定 データ分析-専門知識』

2023-06-28

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません aws認定 データ分析 に頻出する内容を1冊にまとめました 本書は aws認定 データ分析 aws certified data analytics specialty das c01 の認定試験の対策本です 試験に合格するために必要なawsの知識はもとより 実務でも活かせるようにデータ分析システムの構成要素 考え方を身に着けてもらえることを目標にしています 第1章 aws試験概要と学習 第2章 データ分析をとりまく全体像 第3章 データ収集 第4章 ストレージとデータ管理 第5章 データ処理 第6章 分析と可視化 第7章 セキュリティ 第8章 well architected 第9章 練習問題 佐々木拓郎 nriネットコム株式会社所属 awsに関する技術や情報発信が評価され 2019年から2022年までaws ambassadorsに選ばれる 2020年には 日本における貢献度1位として top japan ambassadorsの評価を受ける 2023年に勇退 本職はクラウドを中心としたシステム構築のコンサルティングから開発運用などと その組織のマネージメントに従事している 得意とする分野はアプリケーション開発や開発環境周辺の自動化などであったが 最近はすっかり出番もなくなり awsのアカウント id管理の方法論を日々考えている aws認定についても全12区分を取得済み 本書においては 主に1章 3章 8章を担当した 喜早彬 2008年nriネットコム株式会社入社 主にフロントエンドを中心に 携帯ナビゲーションサイト btobタブレットアプリ btocスマートフォンアプリの構築プロジェクトを経験 近年はデータ分析基盤構築を始めクラウドを生かしたシステム構築やソリューション開発や自社内のccoe推進活動に携わる また 技術広報としてテックブログの企画 運営

を中心に自社の広報業務にも従事 本書においては 主に2章 4章 データストア選択のポイント 6章 7章 aws lake formation の執筆を担当した 小西秀和 アプリケーションエンジニアとして経験を積んだのち シリコンバレーにてawsに関するr dに従事 その後 環境移行 認証連携 iac活用 webアプリ開発 サーバーレス開発などにawsを使用してきた 近年は社内マルチクラウド環境構築等をしながら 継続的なaws認定全取得で得られる知識をベースにawsを活用している 2020 2021 2022 2023 年のjapan aws top engineer services japan aws all certifications engineerに選出 本書においては 主に1章 サーバーレスオプション オンデマンドモード 3章 amazon appflow aws data exchange 9章 練習問題の執筆を担当した 望月拓矢 2016年に外資系it企業へ入社し ハードウェアエンジニアとしてサーバーやストレージ およびネットワーク製品の導入 保守 運用業務に従事 その後 専門技術の幅を広げる目的で2019年に事業会社の情報システム部へ 社内インフラエンジニアとしてaws gcp およびオンプレ環境を使用したシステムの基盤構築と運用 社内ネットワークの構築や管理等を経験する クラウド技術の柔軟性に魅力を感じ 2021年にnriネットコム株式会社に入社 クラウドエンジニアとして主にaws を利用したシステムの設計 構築 運用を専門とする 2022年 2023年のaws all certifications engineersに選出 本書においては 主に4章 運用向けデータストア 7章 セキュリティの執筆を担当した 和田将利 ストレージベンダ スマートフォンゲーム会社等を経て2020年nriネットコム株式会社入社 本書においては 主に5章の執筆を担当した この商品は固定レイアウト型の電子書籍です この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字列のハイライトや検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません お使いの端末で無料サンプルをお試しいただいた上でのご購入をお願いいたします

Amazon Web Servicesを使ったサーバーレスアプリケーション開発ガイド

2018-03-14

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません この1冊で サーバーレスアプリケーション開発の詳細がわかる 本書はamazon services aws を活用したサーバーレスアプリケーションの開発方法をまとめた本です chapter1ではサーバーレスアプリケーションの概要やメリット chapter2ではawsのアカウント設定の準備について説明します chapter3ではインフラの自動化について解説します システムの異常を感知した際の通知やwebサイトの定期的なチェックをするアプリケーションを作ります chapter4ではtwitterをリアルタイム分析するアプリケーションを作ります 世界中のツイートをストリーミングデータとしてamazon dynamodbへと保存します chapter5では写真投稿サイトをシングルページアプリケーションで作ります 投稿した写真を他の人とシェアできるようなサイトを作ったら 認証機能を追加し amazon rekognitionを使った自動タグづけを行います また サーバーレスアプリケーションのためのデプロイメントツール aws samを用いて設定を行います chapter6ではサーバーレスアプリケーションのライフサイクル管理を実現する設定を解説します あらためてaws samについて解説するとともに 複数環境の管理方法や デリバリプロセスの自動化について説明します chapter7はトラブルシューティングをまとめました 各種メトリクスの詳細について解説するほか 分散アプリケーションを分析したりデバッグするサービス aws x ray を説明します 本書で掲載しているプログラムはpython 3対応です

AWSによるサーバーレスアーキテクチャ

2018-03-14

クラウドコンピューティングの技術の中でも 昨今注目を集めているのがサーバーレスアーキテクチャです faas function as a service とも呼ばれるサーバーレスアーキテクチャは ファンクション 関数 と呼ばれるマイクロサービスを実装し 組み合わせながら サービスを構築していくアーキテクチャです その際 実行環境となるサーバーのスケーリングや管理をクラウドプロバイダに任せることで 開発者はオンプレミスなサーバーを考えることなしに 開発時間の短縮と運用コストの削減を図ることができます 本書では サーバーレスアーキテクチャに興味のある開発者がamazon services aws 上で新技術を実践 体験するための例として マイクロサービスのコードを実行する aws lambda amazon s3 などのクラウドストレージ amazon dynamodb などのデータベース auth0 などの認証サービス といったサービスを組み合わせながら 実際に動かすことのできる動画シェアサイトを構築していきます 世界的な技術カンファレンス serverlessconf の責任者である著者による サーバーレスアーキテクチャの主要なデザインパターンを学べる1冊です 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社

Amazon Web Servicesクラウドサーバ構築ガイド コストを削減する導入・実装・運用ノウハウ

2015-11-12

コストを意識した最適なawsクラウドサーバの構築するノウハウが満載 本書はamazon services 以下aws によるサーバ構築を行おうと考えている 企業のシステム担当者 サーバ管理者 sierなどに向けた内容となっています 多くのサービスの集合体であるawsの概要やawsの導入に関する説明から始まり コストを意識したawsクラウドサーバの構築の手法について解説します 本書では awsに切り替えた時に 導入 運用 管理面でどのようなコスト的なメリットがあるのか きちんとフォーカスしています また 本書で扱うモデルは 近年ecサイトで利用が多くなったwordpressとawsを組み合わせたものや movable typeとawsを組み合わせたものを扱っています クラウドを利用したサーバ構築にかかわる開発者や運営者の方にとって必須の1冊です 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社

入門者のための*AWS*導入ガイド

2021-03-31

apnプレミアティアコンサルティングパートナーの渾身の1冊 企業情報システムではクラウドに構築するシーンが多くみられますが オンプレミスとしているシステムも多数あります 本書は 現在オンプレミスで運用している情報システム担当者にむけ クラウド移行のポイントをまとめたものです クラウドとオンプレミスの連携や 移行の7rなど コンパクトにポイントを押さえた解説で 全体像が手にとるようにわかります このような方におすすめ 企業の情報システム担当者 主要目次 第1章 パブリッククラウドの利用 第2章 コスト試算 第3章 移行方法の検討 第4章 クラウド化成功のためのガイドライン作成 第5章 awsアカウントの開設のポイント 第6章 クラウド利用の2大構成 第7章 クラウドならではの可用性 第8章 責任範囲 第9章 ネットワークの設計と構成 第10章 運用 保守の検討 第11章 教育 第12章 awsの各サービス解説 用語集

一夜漬け□**AWS**認定クラウドプラクティショナー［**C02**対応］直前対策テキスト

2023-11-10

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません クラウド技術者向けのベンダー資格として人気の高い aws認定資格 のうちでも もっとも初級の資格である クラウドプラクティショナー の試験対策本です 試験の新バージョン c02 に対応して改訂しました

*AWS*クラウドの基本と仕組み

2019-10-30

aws入門書の決定版 アマゾン ウェブ サービス aws 社のプロダクトマーケティング エバンジェリスト 亀田治伸氏 およびテクニカルトレーナ 山田裕進氏の執筆による awsの利用を前提としたクラウド入門 一般的なクラウドコンピューティングの概要 awsクラウドの基礎知識 概念 テクノロジー セキュリティ 代表的なサービスなどについて理解できる 付録では awsの料金 セミナー イベントおよびトレーニング aws認定 アカウント設定などについて解説 さらにawsの主なサービスの一覧を掲載 クラウドコンピューティングおよびawsについての実用的な情報を求める様々な方に最適 対象読

者 it企業の新入社員 情報システム部 経営企画部の方 中小企業の経営者 it企業の営業担当 awsパートナー企業 itに意識高いビジネスパーソン 他の分野からクラウド分野へ転身の開発者 目次 第1章 クラウドコンピューティングの特徴とメリット はじめてのaws 第2章 itシステムの使用例とawsの主要サービス awsはどんなときに使う 第3章 aws導入のメリットその1 ネットワーク コンピューティングを活用する 第4章 aws導入のメリットその2 ストレージを活用する 第5章 aws導入のメリットその3 データベースを活用する 第6章 aws導入のメリットその4 クラウドセキュリティの考え方 第7章 新しいテクノロジーへの取り組みとクラウドネイティブ開発 これからの時代に求められるスキルと人材 付録a awsのご利用にあたって 付録b awsサービス一覧 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社

図解まるわかり AWSのしくみ

2022-05-23

実務で使いこなすためには技術の理解が不可欠 確かな知識がつく 使える教科書 本書のポイント 解説とイラストがセットで理解しやすい awsの概念的な説明や実現に向けての準備だけでなく 技術面もしっかり解説 awsの代表的なサービスの特徴 オンプレミスでシステムを作る場合との違い 留意点がわかる これから利用しようと考えている人にイチから解説 現場の実態や出来事など 最新動向にもしっかり対応 キーワードから知りたい項目を調べやすい こんな方におすすめ aws全体の概要を知りたい方 実務でawsに関わる方 awsに関連する技術のイメージがわかなくて困っている方 awsの運用や管理についてイメージをつかみたい人 現場の実態や出来事など 最新動向についても知りたい方 内容紹介 本書はawsが企業や団体向けのサービスであることを踏まえて 個人でも利用しやすい基本的かつ代表的なサービスを中心にやさしくかつ丁寧に解説することで awsならびにクラウド初心者の方でもその概要を理解することができます また awsが提供しているクラウドサービスの手軽さや簡単さ やや難しくて注意を要するポイント 技術的な部分などにも多少踏み込むことで 既存の入門書よりもより実践的な内容となっています 本書では見開きで1つのテーマを取り上げ 図解を交えて解説しています 最初から順に読んで 体系的な知識を得るのはもちろん 気になるテーマやキーワードに 注目しながら読むなど 状況に合わせて活用しましょう 目次 第1章 awsを使う 世界最高峰のクラウドサービス 第2章 クラウド利用の基本 事前に検討すべきこと 第3章 amazon ec2を使う クラウドの仮想サーバーを使うために 第4章 amazon s3を使う クラウドらしいストレージサービス 第5章 クラウドを支える技術 クラウド事業者の視点から 第6章 amazon vpcを作る 簡単に作れる仮想ネットワーク 第7章 rdsとdynamodbを使う さまざまなデータベースや分析のサービス 第8章 awsの先進的なサービス 先進技術やトレンドのサービス 第9章 セキュリティと運用管理 ユーザー コスト セキュリティ 運用などの管理 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社

イラスト図解最新情報ビジネス用語がひと目でわかる本

2010-08

最新情報技術用語50のトピックを500のキーワードでしくみから全解説

図解まるわかり **AWS**のしくみ

2022-05-23

実務で使いこなすためには技術の理解が不可欠 確かな知識がつく 使える教科書 本書のポイント 解説とイラストがセットで理解しやすい awsの概念的な説明や実現に向けての準備だけでなく 技術面もしっかり解説 awsの代表的なサービスの特徴 オンプレミスでシステムを作る場合との違い 留意点がわかる これから利用しようと考えている人にイチから解説 現場の実態や出来事など 最新動向にもしっかり対応 キーワードから知りたい項目を調べやすい こんな方におすすめ aws全体の概要を知りたい方 実務でawsに関わる方 awsに関連する技術のイメージがわかなくて困っている方 awsの運用や管理についてイメージをつかみたい人 現場の実態や出来事など 最新動向についても知りたい方 内容紹介 本書はawsが企業や団体向けのサービスであることを踏まえて 個人でも利用しやすい基本的かつ代表的なサービスを中心にやさしくかつ丁寧に解説することで awsならびにクラウド初心者の方でもその概要を理解することができます また awsが提供しているクラウドサービスの手軽さや簡単さ やや難しくて注意を要するポイント 技術的な部分などにも多少踏み込むことで 既存の入門書よりもより実践的な内容となっています 本書では見開きで1つのテーマを取り上げ 図解を交えて解説しています 最初から順に読んで 体系的な知識を得るのはもちろん 気になるテーマやキーワードに 注目しながら読むなど 状況に合わせて活用しましょう 目次 第1章 awsを使う 世界最高峰のクラウドサービス 第2章 クラウド利用の基本 事前に検討すべきこと 第3章 amazon ec2を使う クラウドの仮想サーバーを使うために 第4章 amazon s3を使う クラウドらしいストレージサービス 第5章 クラウドを支える技術 クラウド事業者の視点から 第6章 amazon vpcを作る 簡単に作れる仮想ネットワーク 第7章 rdsとdynamodbを使う さまざまなデータベースや分析のサービス 第8章 awsの先進的なサービス 先進技術やトレンドのサービス 第9章 セキュリティと運用管理 ユーザー コスト セキュリティ 運用などの管理

Harness 最新テクノロジー導入ガイド

2021-10-26

デジタルトランスフォーメーション が声高に叫ばれる今 ビジネスにいかに世界の最新テクノロジーを取り込めるかがますます重要になっています ですが 多くの優れた最新クラウド製品は 英語以外の言語にローカライズされていることは極めて稀です readme digitalは そうしたテクノロジー製品の英文マニュアルの壁に突き当たりがちな現代のビジネスエンジニアのために 最初の一歩 でつまづかないようサポートするガイドブックシリーズです harnessは ビルド テスト デプロイ 検証を早い周期で継続的に回し 顧客やビジネスのニーズに適応したソフトウェアのアジャイル開発の促進を可能にするci cdツールです 本書では 長い説明文は徹底的に廃し エンジニアが実際に操作した画面の遷移を軸に 見て分かる速攻ガイド として分かりやすく編集しています 目次 section 01 ビルトインアプリツアーガイド section 02 aws amiクイックスタート section 03 aws codedeployクイックスタート section 04 sftpアーティファクトサーバの追加 section 05 aws lambdaクイックスタート section 06 トラディショナルクイックスタート section 07 シェルスクリプトデリゲートのインストール section 08 デリゲートの承認または拒否 section 09 デリゲートプロファイルでのスクリプト実行 section 10 デリゲートタスクカテゴリマッピング section 11 セレクタを使用したデリゲート選択 section 12 スコープデリゲート section 13 aws cliのデリゲートインストール section 14 harness manager section 15 awsクラウドプロバイダの追加 section 16 githubリポジトリの追加 section 17 gitlabリポジトリの追加 section 18 aws codecommitリポジトリの追加 section 19 jiraコラボレーションプロバイダの追加 section 20 cloudwatch検証プロバイダの追加 section 21 ユーザー通知の管理 section 22 アラート通知の管理 section 23 タグを使用したメタデータの割り当て section 24 タグを使用したフィルタリング section 25 デプロイメントで使用されるデリゲートの表示 section 26 amiの基本的なデプロイメント section 27 クラウド形成用アカウントの設定 section 28 awsセットアップコストの可視化 section 29 awsコストの分析 section 30 バジェットの作成 section 31 アカウントレベルのgit同期 section 32 アプリケーションレベルのgit同期 section 33 カスタムダッシュボードの作成と管理 section 34 プライマリウィジェット section 35 カスタムウィジェット

図解!　**AWS**のツボとコツがゼッタイにわかる本

2021-12-17

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません awsを使っ

たことのない方 これからawsを使ってみたいと考えている方のための入門書です amazon ec2 amazon rds amazon s3 を使ってみようという方に操作方法をやさしく紹介します

要点整理から攻略する『AWS認定 高度なネットワーキング-専門知識』

2022-02-28

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません aws 認定 高度なネットワーキング に頻出する内容を1冊にまとめました 本書はawsのネットワークに関する知識を体系的に1冊にまとめました aws認定試験を受験される方はもちろん awsのネットワークについて学びたい方や 知識をアップデートしたい方にもおすすめの1冊です aws認定とは aws 認定試験は awsに関する知識 スキルを測るための試験です レベル別 カテゴリー別に認定され 基礎コース アソシエイト プロフェッショナルの3つのレベルと ネットワークやセキュリティなど分野ごとの専門知識 スペシャリティ があります またアソシエイトとプロフェショナルは アーキテクト 開発者 運用者の3つのカテゴリーを用意し それぞれの専門にあった知識を問われます 基本的にはit エンジニア向けの試験ですが 基礎コースにあたるクラウドプラクティショナーのように 営業職や経営者 管理職に推奨されている資格もあります クラウドプラクティショナーは クラウドの定義や原理原則 メリットなど これからawsを学んでいく上で入門的な内容の試験となります 本書の特徴 特徴1 短期学習 読み飛ばしが可能な構成 サービスごとに要点を整理しているため 得意な範囲は読み飛ばせるように工夫しました 項目ごとの確認問題で まずはスキルチェック サービスごとの構成や特徴を理解しやすいように細かく図解 複雑な項目はまとめで知識の整理 特徴2 豊富な練習問題を解きながら学べる 60問を超える練習問題を掲載しました 直近で出題が予想される内容にしてあります 章のおわりに関連する問題をまとめて掲出 選択肢ごとに詳しく 丁寧に解説 問題を解いたあとは対応する範囲を再確認できるように構成 特徴3 実務者の知識のアップデートにも最適 執筆時点で最新のサービス 技術を丁寧に解説してあります 最新のサービスを踏まえて学習 サービスごとの最新機能も網羅的に解説 試験を受験しない方にとっても 知識のアップデートに最適

図解入門 最新 データサイエンスがよ〜くわかる本

2019-02-01

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません データサイエンス データ分析 ブーム以来 上手に活用できている企業と活用に失敗した企業に二極化しつつあります では 成功した企業と失敗した企業の違いはどこにあるのでしょうか 本書は データ分析プロジェクトの

計画からビジネスへの適用までを広く理解できるようにわかりやすく解説した入門書です 先進的な取り組みをしている企業の最新事例から データ分析のプロセス 分析手法 クラウドサービス 用語まで紹介します

要点整理から攻略する□『AWS認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト』

2023-01-26

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません aws 認定ソリューションアーキテクト 試験が求める内容を1冊にまとめました 本書はaws認定のソリューションアーキテクトに関する知識を体系的に1冊にまとめました aws認定試験を受験される方はもちろんawsのサービスについて学びたい方や 知識をアップデートしたい方にもおすすめの1冊です aws認定とは aws認定試験は awsそしてawsと組み合わせて使用するさまざまな技術の最適な使い方が選択できることを証明します aws を使うシーンとして さまざまな課題や制約に対して 最適な使い方ができるかどうかが主に問われる試験です 役割 設計 開発 運用 とレベル アソシエイト プロフェッショナル で分かれている試験と 専門知識 セキュリティ データベース データ分析 高度なネットワーキング 機械学習 によって分かれている試験があり 2022年12 月時点で12の試験が日本で受験可能です 今後も認定試験が増える可能性はあります また 認定試験は更新されて新しい内容になったり 廃止されたりする場合もあります aws認定ソリューションアーキテクトアソシエイトも2022年8月のsaa c 03という新しいバージョンになりました 本書ではsaa c 03の試験ガイドに沿って内容を構成しています 本書の特徴 特徴1 短期学習 読み飛ばしが可能な構成 章ごとに要点を整理しているため 得意な範囲は読み飛ばせるように工夫しました 章ごとの確認問題で まずはスキルチェック サービスごとの構成や特徴を理解しやすいように細かく図解 複雑な項目はまとめで知識の整理 特徴2 豊富な練習問題を解きながら学べる 150問を超える練習問題を掲載しました 各章の理解度を確認できる内容にしてあります 選択肢ごとに詳しく 丁寧に解説 問題を解いたあとは対応する範囲を再確認できるように構成 特徴3 実務者の知識のアップデートにも最適 執筆時点で最新のサービス 技術を丁寧に解説してあります 最新のサービスを踏まえて学習 サービスごとの最新機能も網羅的に解説 試験を受験しない方にとっても 知識のアップデートに最適 開発ベンダー5年 ユーザ企業システム部門通算9年を経て トレノケート株式会社でaws authorized instructorとしてawsトレーニングコースを担当 また 各コミュニティの運営にも個人的に関わり 勉強会にてスピーカーや参加をしている 個人ブログは自らが主催する勉強会と同じ名前のヤマムギ

効果的な導入・運用のための□Amazon Web Services活用入門

2016-08-01

awsを活用するノウハウを現場のエンジニアが徹底解説 開発現場への導入が進んでいる アマゾン ウェブ サービス aws 本書は awsの日本ユーザーグループであるjaws ugのメンバーが多く集まって執筆を行った まさに現場の導入と運用のテクニックやノウハウのつまった1冊となっています 本書の構成 1章でawsの概要や アカウントの取得方法 よく使われる専門用語などについて紹介しています 2章から7章にかけては awsが提供する多くのサービスに関して 主要なものを中心になるべく多くのサービスを紹介しています ストレージやコンテンツ配信 データベースといった基本的なものから開発者用ツールや管理ツール セキュリティ 分析 iot モバイルサービスに至るまで awsの提供する様々なサービスの魅力を感じていただけることと思います 8章以降は 複数のサービスを組み合わせて実現する 目的に応じた利用方法を紹介しています 本書の使い方 特定のサービスについて どういう目的で提供されているのか どのように活用できるのか を知りたい場合は 2章以降の個別のサービス紹介において そのサービスの概要や利用方法を調べることができます それぞれのサービス解説の章はリファレンス的にもご活用いただけますので 手元に置いて利用法別 目的別に 適宜お調べいただくことができます また iotで分野で活用したい エンタープライズ向けの活用方法を知りたい といったことであれば 8章以降が役に立つでしょう 昨今ではクラウドを利用することが標準的な位置を占めており スピード面やセキュリティ面 扱いやすさなどの様々な観点から考えても 使わない理由を探すほうが難しいといった状態に変わってきています その流れを作っている中心がawsと言っても過言ではないでしょう そのawsについて初心者の方をメインのターゲットとし 中上級者の方々にも楽しみながら 学んでいただけるように執筆を行いました 著者 まえがき より 円滑に導入したいweb担当者から 効率的に運用したいシステムエンジニア よりawsを活用したい開発者まで ぜひ本書をご活用ください

Amazon Web Services アプリ開発運用入門

2019-02-01

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません aws amazon services は amazonの提供するクラウドサービスです awsを使えば料理レシピの投稿 検索サービスや 動画を利用した教育サービスなどを手間やコストをかけずに開発できます 本書は amazon servicesを使ったクラウド開発をハンズオン形式で作りながら覚えるアプリ開発運用入門書です 解説の順番を工夫して暗記する局面を極力減らすなどaws未経験者でも安心して最後まで読めるように工夫しました

図解 Amazon Web Servicesの仕組みとサービスがたった1日でよくわかる

2022-02-01

知識ゼロからawsの基本が一気に身につく この電子書籍は固定レイアウト型で配信されております 固定レイアウト型は文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません awsの最初の一歩としての基本の知識を 1冊にぎゅっと凝縮した入門書 誰もが確実に知識を身につけられるように 豊富な図解とわかりやすいテキストで awsの幅広い知識を体系的に解説していきます 本書の特徴 オールカラーの紙面に 図や画面を豊富に掲載 楽しく 直感的にわかりやすい内容を目指しました 仮想サーバー ストレージ ネットワーク データベース セキュリティなどの根幹をなすサービスを コストや利用イメージなども交えながら丁寧に解説 基本の知識がしっかり身につきます itシステムに馴染みのない人でもつまずかないよう サーバーやネットワークなどの基礎知識もやさしく解説します コンテナ サーバーレスコンピューティング 機械学習などの新しいサービスもしっかり紹介 いまどきのシステム開発の基礎知識も身につきます 定番のサービスだけでなく 知っておきたい便利なサービスも多数掲載 本書では60以上のサービスを紹介しています

Amazon Web Servicesインフラサービス活用大全 システム構築/自動化、データストア、高信頼化

2019-09-05

awsインフラ構築 管理の基礎と手法を網羅 アカウント作成から システム規模の自動化 自動スケーリング までカバーした格別の一冊 無料枠での利用についても適宜示しています 多くの章で共通するテーマの1つが 自動化 本書の内容を試せば aws cloudformationを使いこなせるようになるでしょう part 1では 活用事例や長所 料金などを紹介した後 基本サンプルとしてwordpressシステムの構築法を示します part 2では インフラ構築 管理の基礎事項を中心に説明 part 3では データを格納する6種類の方法を具体的に見ていきます part 4では 動的スケーリングが可能で 高可用性そして耐障害性を持つインフラアーキテクチャを重点的に見ていきます サーバー ネットワーク 自動デプロイ セキュリティ サーバーレス開発 データストア オブジェクト リレーショナル 共有 キャッシュ nosql 高信頼化 高可用性 耐障害性 オートスケーリング awsには さまざまなメリット 最新機能の活用 自動化 スケーラビリティ 信頼性 より短期間での環境構築などがあります 本書の内容を把握すれば こうしたメリットを享受できる準備が整うはずです 本書は amazon services in action second edition の翻訳書です 掲載した画面や手順は 2019年8月上旬に確認したものを掲載していますが 今後変更される可能性があります 発行 インプレス

AWS Certified SysOps Administrator Study Guide

2024-04-17

prepare for success on the aws sysops exam your next job interview and in the field with this handy and practical guide the newly updated third edition of aws certified sysops administrator study guide associate soa c02 exam prepares you for the amazon services sysops administrator certification and a career in the deployment management and operation of an aws environment whether you re preparing for your first attempt at the challenging soa c02 exam or you want to upgrade your aws sysops skills this practical study guide delivers the hands on skills and best practices instruction you need to succeed on the test and in the field you ll get coverage of all of the soa c02 exam s domains including monitoring logging remediation reliability business continuity and more instruction that s tailor made to achieve success on the certification exam in an aws sysops job interview and in your next role as a sysops administrator access to the sybex online study tools with chapter review questions full length practice exams hundreds of electronic flashcards and a glossary of key terms the aws certified sysops administrator study guide associate soa c02 exam includes all the digital and offline tools you need to supercharge your career as an aws certified sysops administrator

一夜漬け ***AWS***認定ソリューションアーキテクト アソシエイト ［***C03***対応］ 直前対策テキスト

2022-12-16

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません クラウド技術者 エンジニアに人気の資格 aws認定ソリューションアーキテクトアソシエイト の試験対策テキストです 試験の最新バージョンであるc03に対応して改訂しました

要点整理から攻略する『**AWS**認定 セキュリティ-専門知識』

2020-07-29

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません 合格に必要な

知識はここにある 本書は aws認定 セキュリティ 対策用の受験対策テキストです aws認定 セキュリティ は最低2年間のawsのワークロード保護に関する実務経験を持つセキュリティ担当者を対象とした認定試験です 金融業やエンタープライズには必須となりつつある認定を 豊富な経験と知識を持った著者陣が 合格するために必要な知識をわかりやすく解説しています また 問題の解き方も丁寧に解説し 試験に取り組む際のテクニックも学べます 練習問題で総仕上げも行えるので 受検者必携の一冊です 2023年7月11日にセキュリティ認定試験が新しいバージョンscs c02となる予定です 本書は旧バージョンであるscs c01に対応しています 第1章 aws試験概要と学習方法 第2章 idおよびアクセス管理 第3章 インフラストラクチャのセキュリティ 第4章 データ保護 第5章 ログと監視 第6章 インシデント対応 第7章 aws well architected 第8章 練習問題 この商品は固定レイアウト型の電子書籍です この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字列のハイライトや検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません お使いの端末で無料サンプルをお試しいただいた上でのご購入をお願いいたします 本書内容はカラーで制作されているため カラー表示可能な端末での閲覧を推奨いたします

やさしくはじめる スマートスピーカープログラミング

2019-05-24

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません sf映画みたいに スマートスピーカーと会話してみたい 本書は google homeとamazon echoの2種類のスマートスピーカーの対象とした 開発の入門書です スマートスピーカーを使って 何か作ってみたい人を読者対象としています なお 本書のプログラムはjavascriptで記述しています javascriptを知らなくても実行できるように配慮していますが javascriptの基本を理解している方がよりスムーズに開発を進められます サンプルファイルはサポートサイトからダウンロードできます 目次 chapter 1 スマートスピーカーで何ができるか chapter 2 ifttt でスマートスピーカーと各種サービスをつなげよう chapter 3 iftttと自宅pcでスマートホームを実現しよう chapter 4 sdkでアプリを作ろう google home chapter 5 sdkでアプリを作ろう amazon echo chapter 6 応用から申請まで

Zabbix統合監視徹底活用――複雑化・大規模化するインフラの一元管理

2014-03-24

over 30 hands on recipes that will get you up and running with amazon simple storage service s3 efficiently

about this book learn how to store manage and access your data with aws sdks study the amazon s3 pricing model and learn how to calculate costs by simulating practical scenarios optimize your amazon s3 bucket by following step by step instructions of how to deliver your content with cloudfront secure the s3 bucket with iam and lower costs with object life cycle management who this book is for this book is for cloud developers who have experience of using amazon s3 and are also familiar with amazon s3 what you will learn host a static website on amazon s3 calculate costs with aws simple monthly calculators deploy a static website via cloudformation distribute your content via cloudfront secure resources with bucket policies and iam protect objects using server side and client side encryption enable cross origin resource sharing manage objects life cycles to lower costs optimize performance for uploading as well as downloading objects enable s3 event notifications and create lambda functions manage common operations with aws sdks in detail amazon s3 is one of the most famous and trailblazing cloud object storage services which is highly scalable low latency and economical users only pay for what they use and can store and retrieve any amount of data at any time over the internet which attracts hadoop users who run clusters on ec2 the book starts by showing you how to install several aws sdks such as ios java node js php python and ruby and shows you how to manage objects then you ll be taught how to use the installed aws sdks to develop applications with amazon s3 furthermore you will explore the amazon s3 pricing model and will learn how to annotate s3 billing with cost allocation tagging in addition to this the book covers several practical recipes about how to distribute your content with cloudfront secure your content with iam optimize amazon s3 performance and notify s3 events with lambada by the end of this book you will be successfully implementing pro level practices techniques and solutions in amazon s3 style and approach a step by step practical guide that will show you how to efficiently store manage and control your data in amazon s3

Amazon S3 Cookbook

2015-08-27

クラウド上のシステムの安全はどこから手をつければいいのか awsのセキュリティ その考え方と実践 オンプレミス環境中心だったエンタープライズシステムはいまや クラウド環境への移行が本格化しています 特に 手軽にスモールスタート可能なパブリッククラウドへの移行はすっかり一般的になりましたが 機密性の高いデータを誤って公開してしまったり 適切な設定がされていなかったりと クラウド環境ならではのセキュリティインシデントが発生するようになってしまったのもまた事実です このような現代において クラウドを主戦場とするシステム管理者 開発者には 従来どおりの つまり オンプレミス クラウド共通の セキュリティ管理を学ぶことはもちろん クラウド特化型の セキュリティ管理の原則を学ぶことも必須となっています それは 責任共有モデルなどクラウド固有の考え方を正しく知ることでもあり 同時に クラウド利用によって得られる開発手法の変化や開発スピードの加速といった技術進歩にいち早く対応することでもあります 変わり続けるシステム構成や機能 それらに対応し続けながら リアルタイムにリスクを検知し ビジネスの損失を最小限に抑えるアプローチ それが継続的セキュリティです 継続的セキュリティを実現するための鍵となるのが システムが出力するさまざまなログを含めたイベントデータの取扱いです 本書を読めば 継続的監視に必要なロギング そして取得したログの集約や可視化 探索的分析などの活用方法を学ぶことができます 最大手のパブリッククラウドサービスの一つであるaws amazon service を実例として 基本的な知識 考え方にはじまり 具体的なaws上のマネージドサービスを使ったログ活用のベストプラクティスまでをも紹介する 網羅的かつ実践的な クラウドセキュリティの教科書 と呼ぶにふさわしい一冊です 目次 chapter 1 継続的セキュリティとは chapter 2 継続的監視に必要なログとは chapter 3 セキュリティにおけるログ活用方法 chapter 4 awsサービスによる継続的監視 chapter 5 awsによるセキュリティの検出結果 chapter 6 セキュリティインシデント調査 本電子書籍は同名出版物を底本として作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください プレビューにてお手持ちの電子端末での表示状態をご確認の上 商品をお買い求めください 翔泳社

AWS継続的セキュリティ実践ガイド ログの収集/分析による監視体制の構築

2023-12-22

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません クラウド技術者向けのベンダー資格として人気の高い aws認定資格 のうちでも もっとも初級の資格である クラウドプラクティショナー の試験対策本です 最新情報に対応して改訂しました

一夜漬けAWS認定クラウドプラクティショナー直前対策テキスト［第2版］

2022-03-17

g cloud magazineでは とくにエンジニアをターゲットに 最新かつ実践的なテクニカル情報満載の内容でお届けします 2009年のソーシャルアプリブームを受け iaasに注目が集まる中 インフラとしてのクラウドの可能性 実際の効果などをふまえたうえで amazonやgoogleなどの海外の技術 ニフティをはじめとした国内の最新技術などについて丁寧に解説します その他 大規模プライベートクラウドなど 見どころ満載です

G-CLOUD Magazine

2010

awsのamazon connectでは 電話番号をもらってコンタクトセンターというサービスを開始することができます 本書ではその中でも通話音声の活用法についてまとめました 読み進めることでaws上でリアルタイムに通話音声を活用することが可能となります 目次 第1章 何について書いているの 第2章 高速かもしれないスタートアップ 第3章 盗聴 いえ モニタリングです 第4章 ccp改造計画 第5章 real time streaming 第6章 おかたづけ

AWS音声活用術! Amazon Connect実践入門

2020-05-22

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません google bigquery ビッグクエリ は googleが自社で保有している膨大なデータを効率的かつ高速に分析するために構築した社内データ分析基盤を一般提供したサービスです その内部ではborg colossus jupiter dremelなどのgoogle独自のコアテクノロジーが活用されており 実行されたクエリはgoogleの保有する膨大なインフラリソース上で瞬時に並列 分散処理されます その処理速度は1000億行のデータセットに対してインタラクティブに数十秒で結果を返してしまう程です 本書では 社内に蓄積されているビッグデータを 新人さんがbigqueryを駆使してその優れた

機能に感動しながらも悪戦苦闘し 分析基盤として利用していくサンプルケースを通して bigqueryの利用方法を具体的に解説していきます まずは気を楽にして物語を楽しみながら 登場人物達と共にbigqueryや関連するgcpサービスについて理解を深めていただければと思います

Google Cloud Platform 実践ビッグデータ分析基盤開発ストーリーで学ぶ**Google BigQuery**

2019-12-08

45カ国のイノベーターによるビジネスモデルのイノベーション実践ガイド 現在世界中で主なコンサルタントと会社によって使用されている実用的な革新のテクニックを披露 3m エリクソン デロイトなどの一流企業で利用されています これまでの時代遅れな概念を捨て去り 価値創成の新しいモデルを掲げたこの本はすべての組織のマーケッターや開発社員 コンサルタント 企業家 およびリーダーにとって読み応えのある一冊です ビジネスモデルを9つの要素に分解することで 深いレベルで顧客 販売チャネル パートナー 収入の流れ 原価構造などが理解できます また 一般的なパターンを 豊富な事例を元に すばらしいグラッフィクを用いて詳細に解説 ビジネスモデルの理解 設計 実行を系統的に学ぶことができます 本書はいわば イノベーションを起すための 革新的かつ斬新な ビジネスモデル発生装置 です 本電子書籍は同名出版物を底本とし作成しました 記載内容は印刷出版当時のものです 印刷出版再現のため電子書籍としては不要な情報を含んでいる場合があります 印刷出版とは異なる表記 表現の場合があります 予めご了承ください 翔泳社

ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書

2012-09-20

aws入門書の決定版 アマゾン ウェブ サービス aws 社のプロダクトマーケティング エバンジェリスト 亀田治伸氏 およびテクニカルトレーナ 山田裕進氏の執筆による awsの利用を前提としたクラウド入門 一般的なクラウドコンピューティングの概要 awsクラウドの基礎知識 概念 テクノロジー セキュリティ 代表的なサービスなどについて理解できる 付録では awsの料金 セミナー イベントおよびトレーニング aws認定 アカウント設定などについて解説 さらにawsの主なサービスの一覧を掲載 クラウドコンピューティングおよびawsについての実用的な情報を求める様々な方に最適 対象読者 it企業の新入社員 情報システム部 経営企画部の方 中小企業の経営者 it企業の営業担当 awsパートナー企業 itに意識高いビジネスパーソン 他の分野からクラウド分野へ転身の開発者 目次 第1章 クラウドコンピューティングの特徴とメリット はじめてのaws 第2章 itシステムの使用例とawsの主要サービス awsはどんなときに使う 第3章 aws導入のメリットその1 ネットワーク コンピューティングを活用する 第4章 aws導入のメリットその2 ストレージを活用する 第5章 aws導入のメリットその3 データベースを活用する 第6章 aws導入のメリットその4 クラウドセキュ

リティの考え方 第7章 新しいテクノロジーへの取り組みとクラウドネイティブ開発 これからの時代に求められるスキルと人材 付録a awsのご利用にあたって 付録b awsサービス一覧

AWSクラウドの基本と仕組み

2019-10-30

前号の内容をさらにアップデートし 最新かつ実践的なクラウドコンピューティングの話題で構成する第2号です 前回に引き続き amazon servicesに関する特集の他 先のpdcにて次のフェーズが見えてきたwindows azure paasとしてますます利用が進むgoogle app engineに関する特集の他 前号のeucalyptus記事のアップデート クラウドコンピューティングにおけるセキュリティなど 本誌だけでしか読めない内容が満載です

G-CLOUD Magazine 2011

2011

aws資格試験sysopsアドミニストレーターのアソシエイトのテキスト エンジニアとして実装 運用 管理をする人のための本

ﾎﾟｹｯﾄｽﾀﾃﾞｨAWS認定SysOpsｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰﾀｰｱｿｼｴｲﾄ

2022-12

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません 視覚情報を分析してビジネス課題を解決 awsのai 機械学習サービスを活用しよう amazon services aws のai 機械学習サービスを活用したコンピュータービジョン システムを構築しよう 視覚情報を分析しビジネス上の多くの課題を解決 実際の本番環境でも展開できるよう 具体的な実装方法を紹介します packt publishing computer vision on aws の翻訳書 part 1 awsとamazon rekognitionでのコンピュータービジョンの紹介 1章 コンピュータービジョン アプリケーションとawsのai 機械学習サービスの概要 2章 amazon rekognitionの利用 3章 amazon rekognition custom labelsを使用したカスタムモデルの作成 part 2 実世界のユースケースへのコンピュータービジョンの適用 4章 本人確認を使用した非接触型ホテルチェックインシステムの構築 5章 動画解析パイプラインの自動化 6章 aws aiサービスによるコンテンツの検閲 part 3 エッジでのコンピュータービジョン 7章 amazon lookout for visionの紹介 8章 エッジでのコンピュータービジョンを使用した製造不良の検出 part 4 amazon sagemakerを使用したコンピュータービジョン ソリューションの構築 9章 amazon sagemaker ground truth を使用したデータのラベル付け 10章 コンピュータービジョンでのamazon sagemakerの使用 part 5 コンピュータービジョン アプリケーションの運用環境ワークロードのベストプラクティス 11章 amazon augmented ai a2i によるヒューマン イン ザ ループの統合 12章 エンドツーエンドのコンピュータービジョン パイプライン設計のベストプラクティス 13章 コンピュータービジョンへのaiガバナンスの適用 lauren mullennex awsのシニアai機械学習スペシャリスト ソリューションアーキテクト 複数の業界にわたるインフラストラクチャ devops クラウドアーキテクチャの幅広い経験を持っている nate bachmeier awsのプリンシパル ソリューションアーキテクト 金融サービス業界に焦点を当て世界中のクラウド統合に取り組んでいる jay rao awsのプリンシパル ソリューションアーキテクト 顧客に技術的および戦略的なガイダンスを提供しソリューションの設計と実装を支援している 翻訳者 鈴木貴典 アクロクエストテクノロジー株式会社にて シニア テクニカルアーキテクトとしてクラウドシステムの開発やコンサルティングに従事 好きなaws ai mlサービスはamazon lookout for vision 山本大輝 東京大学大学院情報理工学系研究科を修了後 アクロクエストテクノロジー株式会社でシニア データサイエンティストとして機械学習プロジェクトを推進 好きなaws ai mlサービスはamazon sagemaker 宮島拓也 awsを利用した多くのクラウドサービスの開発 構築経験を持ち モバイルとクラウドを連携したaiサービスの開発に取り組む 好きなaws ai mlサービスはamazon rekognition 吉岡駿 機械学習 aiを利用したクラウドサービスの開発や画像処理を用いた研究開発に従事 好きなaws ai mlサービスはamazon bedrock この商品は固定レイアウト型の電子書籍です この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字列のハイライトや検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません お使いの端末で無料サンプルをお試しいただいた上でのご購入をお願いいたします 本書内容はカラーで制作されているためカラー表示可能な端末での閲覧を推奨いたします

AWS コンピュータービジョン開発の教科書

2024-03-19

この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています また 文字だけを拡大することや 文字列のハイライト 検索 辞書の参照 引用などの機能が使用できません 電子版には冊子付録のコンテンツも収録しておりますが 綴込みdvd rom付録の収録はございません ただしdvd romに収録したコンテンツの一部 記事で利用したプログラムなど は読者限定サイトからダウンロードしてご利用いただけます 電子化にあたり 著作権 使用権のない記事 写真 図表は掲載しておりません 特集1 linuxを100 使い切るフリーソフト100 厳選100本のフリーソフトでlinuxを便利に楽しく wallpaperdownloader ramme google play music desktop player micro forked daapd 特集2 実は必要 linuxのセキュリ

ティソフト どんなアンチウイルスソフトがある 検出率のわずかな差よりも 重さ に注目 無料のclamavでも有償ソフトに遜色なし 特集3 ストレージを追加してlinuxをインストールする windowsの完全バックアップで安心 安全なlinux移行 アカウントとメディアを用意してwindowsをクリーンインストールする 特集4 bluetooth機器で遊ぼう マウスやスピーカーをつなぐ技

日経**Linux**（リナックス） **2019**年**5**月号 **[**雑誌**]**

2019-04-08

working with rest and sockets on yaws cover

Building Web Applications with Erlang

2012-06-07

- lesson 3 solving equations with variables on both sides pdf (Download Only)
- a history of royal dutch shell Copy
- grade 10 goegraphy exam papers (2023)
- anansi goes fishing activities (Read Only)
- bernardin h j 2007 human resource management an (Download Only)
- winterreise (2023)
- amazon tv guide subscription (Read Only)
- igcse math may june 2013 paper 4 Copy
- midwifery preparation for practice pairman s pincombe j Full PDF
- student s book with answers [PDF]
- industrialization of indigenous fermented foods revised and expanded hardback (PDF)
- louisiana board of ethics Copy
- html xhtml the definitive guide 6th edition (Download Only)
- sym gts evo manual (Read Only)
- biblia de referencia thompson edicion milenio reina valera 1960 .pdf
- math in focus singapore math 5a answers iscuk [PDF]
- an introduction to high frequency finance Copy
- aircraft diesel engines bmep inc (PDF)
- intro to hydraulic design (Download Only)
- seul contre tous Full PDF